

当館所蔵の皇室林野管理局の林業講話等史料

木曾山林資料館

1. 林業講話等史料

戦前の木曾山林学校では、昭和9年（1934）から昭和16年（1941）の8年間の毎年2月に、卒業を控えた3年生を対象として、皇室林野局木曾支局の技師、技手等を講師に依頼して林業講話（課外講演）が行われた。林業の実際的な営みが直に生徒に伝えられ、この講述された要旨を小冊子『林業講話要項』に製本し、林業方面に関係する卒業生に配布した。

当館では、昭和9年（1934）から昭和13年（1938）の『林業講話要項』を所蔵し、その他に、岩田利治技師の『森林樹木』、渡邊平治技手の『御料地測量の実際』を所蔵している。

岩田利治技師による樹木識別の講義と実習は、昭和10年（1935）から昭和13年（1938）の間に7回行われ、この時の資料と思われる岩田利治（筆記代用）『森林樹木』のガリ版印刷1冊を所蔵している。

また、昭和13年（1938）の渡邊平治技手の測量講義草稿を基に、皇室林野局木曾支局によって昭和14年（1939）12月『御料地測量の実際』が図書としてまとめられた。その後も渡邊平治技手の測量講義は続いたが、皇室林野局木曾支局による講義終了後に、山林学校の方で『御料地測量の実際』を手本として、生徒が行った昭和18年（1943）5月の三角測量実地講習の成果を項目に足し加え、昭和18年（1943）12月に『御料地測量の実際 三角測量実習編・測距儀測量編』を作成した。

これらの史料は、皇室林野局の業務全般について、生徒を対象として分かりやすく解説している点が特長であり、当館書庫で自由に閲覧できることから、皇室林野局の研究に活用していただきたい。

なお、昭和10年（1935）と昭和11年（1936）の『林業講話要項』は国立国会図書館に所蔵され、昭和10年（1935）の『林業講話要項』は、国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧することができる。



昭和9年～昭和13年
林業講話要項



森林樹木
岩田利治(筆記代用)



左:御料地測量の実際 皇室林野局木曾支局
右:御料地測量の実際 木曾山林学校

昭和14年(1939)から昭和16年(1941)の『林業講話要項』も作成したと考えられるが、当館では所蔵していないことから、これらの『林業講話要項』を探している。

2. 林業講話等史料リスト

| 史料名 | 発行年月日 | 題目 | 講師等 | 備考 |
|----------|------------------|----------------------|------------------|--------------------|
| 林業講話要項 | 昭和11年(1936)3月31日 | 人工造林上の改善事項、撫育及保護事業 | 唐橋在民技師 | 造林掛 |
| | | 施業案編成及検訂 | 坂井三吾技師 | 林務掛 |
| | | 造材、運材、機関等 | 太宰哲一郎技師 | 利用掛、題目のみ |
| 林業講話要項 | 昭和10年(1935)4月8日 | 伐木事業に於ける機械作業の二三に就て | 太宰哲一郎技師 | 利用掛 |
| | | 森林樹木の識別法要点 | 岩田利治技師 | 造林掛 |
| | | 移動苗圃に就て | 岩田利治技師 | 造林掛 |
| | | 県庁に於て行ふ林業の内容 | 長野県庁岡本技師 | |
| 林業講話要項 | 昭和11年(1936)3月31日 | 御料林施業案編成に就て | 萩野久一郎技師 | 林務掛 |
| | | 簡易鐵索運材 | 太宰哲一郎技師 | 利用掛 |
| | | 種子鑑定紙に於ける発芽率鑑定法 | 岩田利治技師 | 造林掛 |
| 林業講話要項 | 昭和12年(1937)3月25日 | 森林土木工学 | 安藤秀夫技師 | 工務掛 |
| | | 造材及運材予定簿の編成に就て | 樋口徳一技手 | 利用掛 10回(大正2年)卒業 |
| | | 御料林に於ける施業案編成の概要 | 和田武男技手 | 林務掛 |
| 林業講話要項 | 昭和13年(1938)5月20日 | 林産物の価格調査と売払方法に就て | 奥村末吉技手 | 利用掛(兼計画掛) |
| | | 木曾御料林に於ける「ひのき」の造林に就て | 長谷川義雄技手 | 造林掛 8回(明治44年)卒業 |
| | | 伐木造材に就て | 樋口徳一技手 | 利用掛 10回(大正2年)卒業 |
| 森林樹木 | 不明 | | 岩田利治技師 (筆記代用) | 造林掛 |
| 御料地測量の実際 | 昭和14年(1939)12月 | | 渡邊平治技手述 | 帝室林野局木曾支局 |
| 御料地測量の実際 | 昭和18年(1943)12月 | 三角測量実習編・測距儀測量編 | | 長野県木曾山林学校 |